

○鶴岡市育英奨学基金に関する規則

別表(第4条関係)

(全部改正〔平成21年規則17号〕)

学校	奨学金の額	摘要
学校教育法(昭和22年法律第26号)に規定する高等学校又は高等専門学校	月額 15,000円以内の額	合併前の朝日村又は温海町の区域に住所を有する者の子弟に限る。
学校教育法に規定する大学(以下「大学」という。)	月額 40,000円以内の額	合併前の藤島町、櫛引町、朝日村又は温海町の区域に住所を有する者の子弟に限る。
大学に相当すると市長が認める学校	月額 40,000円以内の額	合併前の温海町の区域に住所を有する者の子弟に限る。

旧町村の育英奨学基金(藤島・櫛引・朝日・温海)

	R2	H31	H30	H29	H28
新規貸付人数	4	4	3	8	4
貸付人数	17	17	19	20	18
償還者人数	65	86	91	104	118

資料：鶴岡市教育委員会管理課

育英奨学基金の状況

単位：円

	H31.3.31	令和元年度中受払高		R2.3.31
	現在高	受高	払高	現在高
現金	153,802,504	17,829,020	7,740,000	163,891,524
有価証券	11,469,500			11,469,500
貸付	86,157,000	7,740,000	16,855,500	77,041,500
合計	251,429,004			252,402,524

(8) 育英奨学金貸付等事業については、現行のとおりとする。

区分	貸付月額等	
藤島町	大 40,000円	現在の制度を、新市においても旧町村単位で実施する。 鶴岡市、櫛引町は制度なし
羽黒町	大・短・高 30,000円	
朝日村	大・短 50,000円	
	高専・高 15,000円	
温海町	大・短・専 35,000円	
	高専・高 18,000円	

「南庄内合併協定書」説明資料(平成17年)から羽黒地域は合併後、財団法人羽黒育英会として独立。

旧町村の育英基金の統合は、歴史を踏まえた検討を

鶴岡市は令和3年度35歳まで本市にUターンした場合などを条件に、新たな奨学金返済支援制度を創設します。県制度に市が上乗せし、支援金額を2万6千円から4万2千円にし、奨学金返済を10年間に分割支援します。後年度の返済支援に備えるため、「奨学金返済支援基金」を設置します。

合併前から継続していた旧町村の育英奨学基金を、市では新たな基金に統合する検討をしています。

旧町村の育英基金は特別の歴史があります。東田川郡役

所の郡政時代に、今から124年前の1897(明治30年)、篤志家の寄付で創設され、翌年に育英事業を開始。大日本育英会発足の1943(昭和18)年より、45年も前の先駆的な事業です。

育英資金を使って公営の水力発電事業を行い、利益を育英資金に還元してきました。

現在の新規貸付人数は減っていますが、総資産は2億5千万円も保有しています。

旧町村の歴史を踏まえた対応が大切です。

平形分教場 6

加藤貞雄(山王町)

■初めての英語

はじめて英語というものに接したのは、敗戦も間近い中学一年の春、島田昇平先生の授業であった。その最初の授業のときのことが強く記憶に残っている。

先生が「これから英語を学んでいく上で何か聞きたいことはないか」とみんなに尋ねた。

私は「英語の言葉はどのようにして作るのですか」と質問した。先生はげんげんな表情で質問の意味を問い返してきた。つまり、英語というものは日本語を規則的に変えるときできるものだと私は思っていたのだ。日本語とは全く違う言葉を一つひとつ覚えていくのだと知って啞然としたことを覚えてる。

それからA、B、Cの発音の仕方に移った。聞き慣れない音や口の形に教室の中で忍び笑いが漏れた。なかでも先生が喉の奥から咳でもするように「K」を発音したり、口先を極端にとがらせて「Q」の発音をして見せたとときには、みんなとうとう吹き出してしまった。それでも先生は怒らず、繰り返し発音してみせ、繰り返して真似させようと懸命であった。私たちは次第に真剣になり、発音が高まっていった。

敵国の言葉であるのに先生の指導は本気であった。陸軍本部から派遣されている配属将校が学校内を闊歩していた時代で、先生はきつとつらい気持ちに堪えておられたに違いな気がします。

それにしても、国のために命を捨てることを潔しと教え込まれていた軍国少年が、敵国の言葉を学ぶことに何の疑問も反感も抱かず、まじめに勉強したのは今にして不思議である。

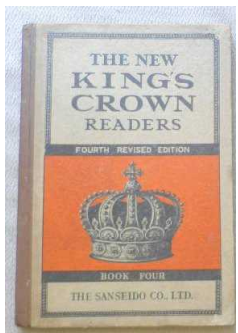
島田先生の熱意がそうさせたのであろう。

敗戦後しばらくの間、英語の学習はウィークリーと称するB5版ぐらいの一枚の紙に、英語が印刷されたものをテキストにして習った。島田先生はそこに載っている英文を全部暗記することを私たちに要求した。その中にあった次の文を今も覚えてる。

The war is over.
Peace is with us now.

(戦争は終わった。平和は今、私たちと共にある。)

英語は暗記だということを通して教えた。島田先生の授業は厳しかった。宿題をやっていたかいないと鋭い口調で徹底的に追求された。(つづく)



藤花荘
其五

藤架繞莊北嶺南
老軀無奈忘人慙
莫粧相看未相識
日夜惰眠不得談

藤花荘
其の五

藤架 莊を繞り北嶺の南
老軀 奈ともする無く人を忘るるを慙づ
粧 莫く相 見て未だ相 識らず
日夜 惰眠 談るを得ず

城貞(藤の花)

名山鳥海山の南、庄内平野中央にあるふじの花荘、旧町花の藤の花の柵で取り囲まれている。

介護を受けている利用者は、年を取り体は弱り、人の名前や相手が誰かも忘れて、恥ずかしいことに今ではどうしようもないのだ。

顔かたちを飾ることもなく、お互い顔を合わせても見つめ合っているばかりだ。

何をするという事もなく話をすることもない。

藤花荘 特別養護老人ホームふじの花荘。藤架 藤柵。繞莊 藤の花荘を取り囲む。北嶺 鳥海山。老軀 年を取り弱った体。無奈 どうしようもない。忘人 人の名や誰かを忘れる。慙 是はじる。莫粧 化粧をしない。相 互いに。識 よく知る。日夜 昼も夜も。惰眠 特別何をするという事もなく過ごすこと。談 人と話す。

世界の国々 カンボジア② アンコール遺跡 青山 崇



(アンコール・ワット 全景)

アンコール遺跡は、9〜15世紀アンコール王朝の石造都市・寺院遺跡群である。アンコール・トムやアンコール・ワットはその一つである。アンコール・トムの



(アンコール・ワット 中央寺院)

面積は東京ドーム60個である。バイヨン寺院の「謎めいた微笑」が有名です。

最大2 m余の顔が彫られた四面像は、観世音菩薩像を模していると言われており、通称「クメールの微笑み」とも呼ばれています。(左写真)



(クメールの微笑)



(アンコール・トム遺跡のバイヨン寺院)



最大の教訓

あの地震から10年目という事で、報道は大きく取り上げておりましたが、読者の皆さんはその時・何処で何していましたか。

▲俺は全国的な取り組みである減税闘争の集會中。年金者組合代表で委員長と2人で、勤労者会館のステージに上がっている時だった。

▲今年の報道でも、各地の慰霊行事で忘れてはならない災害、忘れてはいけない教訓などが協調されるのは当然ですが、これは普通の強い地震だけではなかったという事だ。

▲復興担当大臣がおりますが、何をもって復興というんでしょうか。防波堤を作った。何mかの土盛りもした。鉄道も復旧した。広い避難が解除をされて、希望を持って帰ってきた人もいるとの報

道があるが、福島か。▲何せ10年もたっているんだ。小中学生のお子さんがおるところでは、学校を変わるといふ事は難しいでしょう。だからだけでもないでしょうが、故郷には戻らないと言う人が、半数以上いるんだっけ。

▲この数値もどの程度正しいのか。というのは、避難者数を正しく掴んでいないという報道があるからだ。安倍前首相は、原発をアンダーコントロールしていると言って五輪を持つてきたんだが。

▲で現実には、毎日出る冷却水でさえ手に負えない状況。廃炉は50年までに。ナンテ言っているが、誰が責任を持つての話なんだか。マユツバもいいたところ。

▲福島の状態を見てドイツや台湾は、原発から撤退を決めた。日本の最大の教訓は、原発とは共存できないという事です。(石川)